

# 令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上小小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて  
(3月)

年度末評価  
(2月)

反映

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】基礎学力の定着。理科の平均点を向上させることが課題。</p> <p>【指導上の課題】教員側が、学習内容に沿ったICT機器の活用を行い、児童の学力向上を目指す。</p>	<p>朝自習「基礎学習の時間」を活用して、通年で国語の書きと計算の基礎問題に取り組む。</p> <p>全国学調・市学調の正答率の全体的な向上を目指す。</p> <p>「これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目についても肯定的な回答(5年59.3%、6年60.6%)を増やすため、各担任の授業改善を推進する。</p>
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】授業で「個で考える時間」を十分に確保し、個別最適化された学習を展開する。</p> <p>【指導上の課題】ミライシード「オクリンク」「ムーブノート」を効果的に活用し、学習の理解度を教師側で適宜把握する。</p>	<p>全国学調の国語「A話すこと・聞くこと」の項目では、埼玉県の平均を下回った問題があったので、日々の授業の中で、「話す力」「聞く力」を高められるような授業展開を行っていく。</p> <p>「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問項目について、5・6年生で84.4%の肯定的な回答を得られた。今後も、その数値の維持を目指すために、学校全体で自主学習の取組を進める。</p>

<小6・中3>(4月~5月)

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>調査の振り返り(4月)</p> <p>①児童生徒による振り返り</p> <p>②調査問題の解説</p> <p>③振り返りの終了報告</p>	
思考・判断・表現		

結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

中間評価(9月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)